

## 大好き図書館！ 平成30年度 こども司書講座受講生募集

図書館の仕事や本について楽しく学んでみませんか？

- 期間 4月～平成31年3月（1年間）
- 講座回数 7回（予定）
- 対象 小学校4～6年生
- 募集人数 15人程度（先着順）
- 受付期間 3月20日（火）～4月13日（金）

※事前に窓口でお申し込みください。

※詳細は図書館内に掲示している募集要項をご覧ください。



▲七夕飾り作成の様子



◀百科事典を活用した調べ学習の様子

## 「大分県子ども読書サミット」に出場しました！！

1月28日、大分県立図書館（大分市）で開催された子ども読書サミットに、咸宜小学校5年の相良結衣さんと畑中菜那さんが出場し、「子ども司書お話会」の実演発表を行いました。

二人は淡窓図書館が開講する「こども司書講座」の受講生で、サミット本番に向け、絵本の見せ方や発声法、間の取り方などたくさんの練習を重ね、本番では堂々とした読み聞かせを披露しました。



相良結衣さん 畑中菜那さん

### 新刊情報

夜行列車よ永遠に  
隔月刊誌「旅と鉄道」編集部／編  
天夢人

誰にとっても夜行列車は特別な存在だ。歴史にその名を刻んだ往年の夜行列車から、現在運行されている「サンライズエクスプレス」まで、数々の物語を乗せて走り続けた夜行列車たちを紹介する。



ボンボとヤージュ  
ザ・キャビンカンパニー／作・絵  
学研プラス

ひげのボンボとライオンのヤージュ。人気上昇中の大分県出身、「ザ・キャビンカンパニー」がデビュー時から大切に育ててきたキャラクター、ボンボとヤージュがついに初絵本化！たいくつしていたひげのボンボとライオンのヤージュの前に、歌う地図が落ちてきた。胸をどきどきさせた2人は、宝探しの旅にでる。



レ・ミゼラブル 前編  
五島夕夏／文・絵  
ヴィクトル・ユーゴー／原作  
岩崎書店

長い投獄生活で疲れ切ったジャン・ヴァルジャンがディーニュのまちにやってきた…。ユーゴーの名作『レ・ミゼラブル』を動物絵本化。ジャン・ヴァルジャン、コゼット、ジャヴェルなどおなじみの登場人物たちが、かわいい動物に。



おいでよ！おはなし会

- とき  
3月10日（土）  
午後3時～4時  
3月24日（土）  
午前11時～正午
- ところ  
児童コーナー

3月の休館日（○…休館日）

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

## 日田の輝き人を紹介します HITAJIN

本市では、新たに就農を希望する人を対象とした研修制度「ファーマーズスクール」を開校しており、昨年の5月から「大山えのきファーマーズスクール」で加藤さんと帆足さんの二人が研修中です。

二人は高校の同級生で、卒業後別々の会社で働いていましたが「将来、自分達で何かを作って起業したい」と話し合うようになり、その選択肢の一つに「農業」があったそうです。

しかし、これまで全く関わったことのない農業に挑戦するには、一から学ぶ場所が必要だと思った加藤さんと、会社を辞めて農業の道に進むことに対して不安があった帆足さんは、二人で就農コーチの三笠さんの話を何度も何度も聞きに行き、就農コーチの農業に対する熱意に魅せられて「えのき苜蓿栽培を勉強

してみたい」と決意を固めたそうです。

二人の研修期間は2年間。1年目は就農コーチの指導の下で、栽培のノウハウを学び、2年目は施設を借りて自分一人で模擬栽培・経営を行い、研修修了後、独立就農となります。

えのき苜蓿栽培は、まずプラスチック製の容器に詰められた培地にえのきの菌糸を植え付け、その後、温度管理をした培養室で1か月間かけてゆっくり成長させていきます。えのき苜蓿を真っ白く均一な長さに揃えていくためには温度や風、湿度などを付けることがたくさんあります。また、栽培室の中は消毒ができないため、他の雑菌が入らないように清潔に保つ必要があります。掃除には人一倍気を使っているそうです。「自分達で栽培したえのき苜蓿を初めて収穫した

時は緊張しましたが、それを持って帰って食べた時の味と感動は忘れません」と加藤さんは語ります。

研修を開始して9か月が経ち、今は大山町農協の大きな栽培施設で研修を行っています。「将来的には、二人で共同経営をしていきたい」と夢を膨らませていきます。

休みの日は山登りやランニングを行うなど、体力的にもとても頼もしい二人。「大山町のえのき農家の皆さんと話しをする機会が少しずつ増え、たくさん先輩方から色々教えてもらいながら、品質の良いえのき苜蓿を栽培していきたい。そして、大山町をもっと盛り上げていきたい」と熱く思いを語ってくれた二人。夢に向かって頑張る二人の今後の活躍が期待されます。

「大山えのき苜蓿」を通して町を盛り上げたい！



（右）加藤想馬さん  
（左）帆足誠さん



地域おこし協力隊活動⑦

地域を盛り上げます！

今回は大山地区で活躍している上戸さんをご紹介します！



かみとゆふこ  
上戸木綿子さん

大山地区担当、上戸木綿子です。長崎から、日田に恋して移住してきました。昨年4月から大山町で活動しています。地域を知る活動から始め、公民館行事のお手伝い、話し合いへの参加等を行ってきました。昨年の秋には「紅葉を観る会」を開催し、田原美しい森づくり公園と、その周辺の森を紹介させて頂きました。今後も微力ながら大山の魅力を紹介する活動ができればと思います。3月は「おおやま梅まつり」！初春の梅の香りを感じに、大山にお越しください。

